

試験・成績

(1) 単位認定の概要

授業科目の単位は、定期試験、授業期間中の試験、レポート課題などを課すとともに、授業への参加状況なども勘案して総合的に成績評価を行い、担当教員の判断により認定されます。各授業科目の成績評価の方法は、シラバス(授業計画)に明記されていますので、必ず履修前に確認してください。

(2) 定期試験・追試験・再試験

1 定期試験

定期試験は、前期・後期末に期間を定めて行う試験です。試験の時間割や教科書・参考書等の持込制限などの詳細については、UNIPAで発表しますので、必ず確認してください。

(1) 受験できる授業科目

受験できる授業科目は、履修登録をしたものに限られます。

(2) 受験制限

以下に該当する場合は、受験することができませんので、注意してください。

- 所定の手続きをせず授業料等を未納の者
- 履修登録をしていない授業科目の定期試験を受験しようとする者
- 特別の理由なしに、当該授業科目の出席時間数が総授業時間数の3分の2に達しない者

(3) 欠席する場合の対応

病気その他やむを得ない理由により定期試験を欠席する場合は、試験開始前に必ずIM局に連絡し、指示を仰いでください。

2 追試験

やむを得ない理由で定期試験を受験できなかった学生に対して、追試験を実施することがあります。ただし、平素の学修状況によっては、追試験の受験が認められないことがあります。

<追試験受験上の注意事項>

- やむを得ない理由とは、原則として公欠を認める場合の理由を準用しますので、前述の「公欠」を確認してください。
- 追試験の受験を希望する場合は、指定された期間内に、IM局で所定の申請手続きを行ってください。申請手続きの詳細はUNIPA等で連絡します。
- 追試験を欠席した場合、再度の追試験は実施しません。
- 追試験を不合格となった場合、追試験の再試験は実施しません。
- 追試験の受験には、追試験料2,000円がかかります。

3 再試験

定期試験を受験し、不合格となった場合、担当教員の判断により、再試験の受験が認められる場合があります。

<再試験受験上の注意事項>

- 再試験の受験を希望する場合は、指定された期間内に、IM局で所定の申請手続きを行ってください。申請手続きの詳細はUNIPA等で連絡します。
- 再試験の受験には、再試験料2,000円がかかります。
- 再試験による評価はC(60点以上)及びD(60点未満)で行い、Cを合格として単位を認定します。
- 再試験を欠席した場合、再試験の追試験は実施しません。
- 再試験を不合格となった場合、再度の再試験は実施しません。

(3) 試験受験上の注意事項

定期試験、追試験及び再試験を受験する際は、以下の注意事項を遵守してください。

- 定期試験、追試験及び再試験を受ける際は、学生証を提示してください。万一、学生証を持参し忘れた場合は、事前にIM局で仮学生証の発行を受け、これを提示して受験してください。なお、学生証又は仮学生証を提示しない場合は受験できません。

- 答案は、特別な指示がない限り、配付された答案用紙に記入してください。
- 氏名・学籍番号が記入されていない答案は無効となります。
- 試験場においては、監督者の指示に従ってください。
- 不正行為をした者は、学則に基づき厳重な処分の対象となります。
- 不正行為をした者は当該学期に履修登録した全授業科目の評価がD(不合格)となります。
- その他の注意事項は、UNIPA等でお知らせします。なお、授業科目によっては担当教員が特別の指示をすることがありますので、これに従ってください。

(4) 成績評価

各授業科目の成績評価は、下表の基準により判定し、S～C及びPの場合に単位を認定します。

評価	評点
S	100点～90点
A	89点～80点
B	79点～70点
C	69点～60点
D	59点以下
P	認定
W	取り下げ

(5) GPA制度

GPA(Grade Point Average)とは、履修した授業科目の成績評価を点数(GP:Grade Point)に置き換えて当該授業科目の単位数を乗じ、その総和を総履修単位数で除して得た平均点です。学修成果を総合的かつ客観的に確認できる指標となるため、学修目標の明確化に役立つとともに、効果的かつ適切な指導を行うための資料としても利用します。

また、インターンシップやゼミの選考等に利用することもあるため、詳細については「法人及び修学支援に関する情報」に掲載されているの「[情報経営イノベーション専門職大学グレード・ポイント・アベレージに関する規程](#)」を参照してください。